

当センターの職業訓練を受講後、有限会社スナミ製作所様に正社員として就職され、機械オペレーターをされている馬場 涼子様（CAD・ものづくりサポート科 平成30年12月生）に、現在のお仕事等についてお話を伺いました。

さらに、代表取締役社長 角南 大介様に、馬場様の採用や仕事ぶりについてお話を伺いました。



* * * * *

女性が採用されるかどうか、私の肩に掛かっている。女性ではこの仕事ができないと思われぬように頑張る。

CAD・ものづくりサポート科を受講された馬場様に、現在のお仕事や就職の経緯などについてお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- 主にプレス加工を担当しています。農機具・半導体の部品のプレス加工や金型の部品の機械加工をしており、ラジアルボール盤やフライス盤など汎用機も使用します。

◇前職は？

- みその製造会社で製造・販売を担当していました。家業の手伝いです。

◇就職されて、いかがですか？

- いろいろできて楽しいです。受講前から金属加工の仕事を希望していました。幼少の頃からものをつくるのが好きという訳ではなく、いつの頃からか、作ってみたいと思うものを図にして、それを形にできるようになって、ものをつくるのが好きになりました。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- ハローワークで求人を見ているときから、ものづくりをやってみたいと思っていましたが、経験がないし、大きな機械を使うのは怖いというイメージがあって、応募できませんでした。ハローワークで相談したら、ポリテクセンターを紹介されました。

た。ちょうどCAD・ものづくりサポート科が募集されていて、見ていた求人も機械加工関係が多かったので、応募しました。

◇受講の目標は？

- 教えてもらうことは理解できるようにしたいと思っていました。でも、経験がないので、訓練についていけるかどうか不安でした。

◇受講前、ポリテクセンターの印象は？

- ポリテクセンターの存在は知っていましたが、調べたこともなかったので、どんなことをしているかまでは知りませんでした。ハローワークで説明を聞いて、意欲的な人を分け隔てなく、受け入れる印象を受けました。見学説明会(※)に参加して、実際に機械や職業訓練をしているところを見て、楽しいと思いました。ところが、入所選考の面接では「受講する必要があるのですか？」など質問が厳しくて、“意欲的な人を分け隔てなく、受け入れる”という第一印象が脆くも崩れ落ちました。すごく落ち込みました。「面接、怖かったね。もう私、落ちていい。」と、帰りのバスを待っていた方と話をしました。

※「見学説明会」では、募集している科の内容等の説明と職業訓練を行う実習場の見学を定期的実施しています。

◇受講していかがでしたか？

- 初めの1ヶ月間は緊張していましたが、クラスメイトにも先生にも恵まれ、“私、やっていけるかもしれない”と思いました。質問しても、先生は嫌な顔をされないので、何でも訊きやすかったです。どの内容も楽しかったし、いろいろ身に付きました。3次元CADソフトのSolid worksで、アセンブリモデルを作製し、パソコンの画面上で、3次元で組み立てて、組み立てたものが画面上で動くのはすごいなと感動しました。印象に残っているのは、旋盤・フライス盤の最終課題です。それまでは先生から課題を与えられたのですが、自分たちでつくりたいものをイチから考えてつくる、製図から製作まで自分たちですするという課題でした。みんなでどんなものをつくるかを相談したり、図面を描いたり、いろいろ考えながら作業をして楽しかったです。なかなか思い通りにつくれず、削りすぎたり、失敗しつつ、サイズも一人ひとり微妙に違ったりしました。全くの初心者がここまでできたのだから、上出来だと思いました。

◇職業訓練で習得したスキルで、今のお仕事で役立っていることは？

- 受講中は、図面を見て加工するのがおもしろいと思っていました。今の仕事は主に部品のプレス加工なので、受講中に見ていたような機械図面を見ての作業がなく、専門的なこととしては、直接役立っていることは思い浮かびません。今の仕事では、安全衛生、例えば、回転系の機械で作業するときは軍手をしないと

いう知識と経験が役立っています。

◇就職活動や当センターの就職支援は、いかがでしたか？

- ー 公開求職者情報からの指名求人（※）でした。私の簡単な職歴やアピールを見て、私みたいな経験のない者に声を掛けていただき、ありがたいと思いました。指名求人をいただいた会社に就職しました。

※「指名求人」とは、希望職種など訓練受講者（求職者）の情報を事業所に提供し、受講者を指定してご提供いただく求人です。

◇就職決定の決め手は？

- ー 指名求人をいただいたこと、社長の人柄、そして工場がきれいなことです。

◇今後の目標は？

- ー 今は、先輩から「これをやって」と言われて、そのとおりに仕事をしています。自分で判断して仕事ができるようになりたいです。金型の部品を加工していますが、ひとつの金型を仕上げるのに他にどんな部品が必要かがイメージできないので、完成品をイメージして作業ができるようになりたいと思っています。

◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- ー CAD・ものづくりサポート科から1名、女性が入社して欲しいです。女性が採用されるかどうか、私の肩に掛かっていると思います。女性ではこの仕事ができないと思われるように頑張ります。だから、どなたか私のあとに続いて欲しいです。

* * * * *

できるだけ早く一人前になって欲しいとは思いますが、時間がかかっている。

世の中にはいろいろな仕事があるだろうけれど、ものづくりってどんな仕事なのか、一度は目を向けて欲しい。

代表取締役社長 角南 大介様に、馬場様の仕事ぶりや採用の決め手、今後の採用についてお話を伺いました。

◇事業内容は？

- － プレス金型の設計・製作、プレス加工です。製品の企画から金型設計、金型製造、プレス加工、二次加工、最終製品までワンストップで対応しています。常にチャレンジ精神を持ち、これまで不可能と考えられていた技術にも柔軟な発想で挑戦してきました。
瀬戸内市牛窓にちょうどいい物件が見つかって、岡山市中区から工場を移転したばかりです。

◇採用の決め手は？

- － 面接のときに、ご自身が製作した編み物やがま口の財布かカバンかを持って来られ、それを見て、ものづくりが好きなんだと思いました。

◇仕事ぶりは？

- － 言われるがまま仕事をしている状態で、何をしているかわからないことがたくさんあると思いますが、前向きに頑張っている仕事をしています。プレス加工以外にもいろいろなことをしてもらって申し訳ないなと思い、馬場さんに伝えたら、「いろいろできて楽しいです」と、頼もしい答えが馬場さんから返ってきました。
入社されてそろそろ半年になります。先ほど馬場さんは「自分で判断して仕事ができるようになりたい。」とおっしゃいましたが、馬場さんならあと半年でできるようになると期待しています。
できるだけ早く一人前になって欲しいとは思いますが、覚えにくいだろうし、覚えるには時間がかかるとも思っています。プレスを打つだけなら、技術を習得するのに時間はかかりませんが、金型は一品一様なので、図面も加工も前回と同じという訳にはいきません。

◇御社が求めている人材？

- － はい。女性が現場に入ったら変わるかなと思っていました。馬場さんはよすぎるくらい愛想がよくて、職場の雰囲気や和らぎました。
男性が入社した場合、他の社員は気に掛けませんが、馬場さんのことはみんなが気に掛けていて、馬場さんの状況を見ながら、困っているようであれば声を掛けて手伝います。
男性社員も高齢になり、以前のように重量物を持ってないときは、クレーンを使ったりしています。馬場さんにも、腕力がなくてできない仕事があれば、相談するように伝えました。設備や道具を整備することで解決するのなら、整備していこうと考えています。

◇期待されていることは？

- － 多能工になることです。マルチタスク、複数の仕事ができるようになって、人手が足りないところを応援できるようになって欲しいです。これは、馬場さんだけでなく

く、全社員に期待していることです。

◇職業訓練を受講されて、仕事に役立っている点は？

- 一 回転系の機械操作で、軍手をしなかったのには驚きました。軍手をして操作してはいけないことなど、安全についてもきちんと学ばれたのだなと思いました。
馬場さんは職業訓練でプレス加工はされていませんが、6ヶ月間の職業訓練で、機械を見た、測定器を見ただけでも、何も知らないより指導しやすいです。馬場さんは、教えられたことをかみ砕いて理解できています。

◇当センターに期待することやご要望は？

- 一 仕事内容や方法は、それぞれの会社で異なるので、基礎を広く浅く習得できればいいと思います。

◇当センターの修了生以外で、未経験で入社された方は？

- 一 います。前職は、飲食関係、ガードマン、アパレルなどさまざまです。派遣社員から正社員になった社員もいます。金属加工を希望していて、仕事を覚えようという意思がある人なら、前職は関連職種でなくてもよい。

◇採用にあたり、重視されていることは？

- 一 「やる気がある」人ではありませんが、面接だけではなかなか判断できません。応募者もやっていけるかどうか不安があると思います。だから、試用期間として2、3ヶ月間いろいろやってみて、お互いによければ本採用という方法もあります。弊社は少人数なので、今は新卒をイチから育てるゆとりがなく、新卒採用も困難な情勢なので、中途採用のみとしています。

◇ものづくり分野への就職を希望・検討している方にメッセージをお願いします。

- 一 私は文系出身で、学校卒業後は印刷会社で働いていました。弊社にアルバイトで入社し、平成25年に現在の会長から社長を継ぎました。3次元CADを使える社員がいないため、社長業をしつつ、3次元CADのオペレーターもしていて、金型のデータを作っています。3次元CADを導入したときに、CADメーカーの社員から2日間指導を受けただけで、あとは自己啓発です。3次元CADが段々できるようになったときに、喜びややりがいを感じました。

弊社は自動車部品や農機具部品をつくる金型の設計・製作をしています。自動車を持たない、運転免許を持っていない、そんな若者が増えていると聞きますが、自動車に乗っていないなら、そもそも自動車部品に興味がないだろうし、弊社の仕事に目が向かないだろうと思います。世の中にはいろいろな仕事があるけれど、ものづくりの仕事も楽しいと思えることがあるのではないのでしょうか。ものづくり分野の仕事より、他の分野の仕事に興味のある人が多いだろうけれど、ものづくりってどんな仕事なのか、一度は目を向けて欲しいです。

日本は資源がないから、ものづくりをしないと世界に勝てません。日本のものづく

りを一緒に発展させていきましょう。

有限会社スナミ製作所

所在地：瀬戸内市牛窓町長浜 4635

設立：昭和 52 年

資本金：300 万円

従業員数：15 名

事業内容：プレス金型の設計・製作
プレス加工



= CAD・ものづくりサポート科担当から =

角南社長、馬場様の取材を通して、CAD・ものづくりサポート科の目指すべき仕上がり像として、機械加工のスキル向上訓練に今後も取り組んで参ります。

作ってみたいと思うものを図にして、それを形にできる馬場様が、クラスのまとめ役を自ら進んで引き受けていただき、製作物の試作を厚紙を使い器用に作り上げて、クラスの皆さんに提示していただきました。今もその時のモデルを大切に保管しています。

懐かしく思うことは、朝いつものように教室に入ると、手裏剣が教室のホワイトボードに刺さり、ホワイトボードにひびが入っている光景を見てビックリしたことです。馬場様とクラスの方から私への“サプライズ”でした。マグネット付きのおもちゃの手裏剣をホワイトボードにくっつけて、ひびのイラストを手描きされたのです。

クラスのまとめ役をされる一方で、茶目っ気も発揮される馬場様のおかげで、訓練を担当している私も楽しかったです。

(取材後記)

◎角南社長、馬場様、ご多忙のところ取材にご協力いただき、ありがとうございました。

馬場様に職業訓練についてたずねると、「いいこと言わないと」とおっしゃりながらやさしく言葉を加えてくださった角南社長。「そろそろかなと思って、この分置いておきました。」と、撮影のために加工作業を残してくださった馬場様。「職場の雰囲気や和らいだ」との角南社長のお言葉、就職の決定の決め手を「社長の人柄」との馬場様のお言葉から、お二人の温かみがじんわりと心に沁みています。

◎当センターを受講する方が減少傾向にありますが、ポリテクセンター岡山に一度は目を向けていただけるよう、そして、ものづくりにチャレンジしたい方が馬場様のあとに続くようスタッフ一同頑張ります。

<2019年10月>